

文化財ウォーク

～沖之上の薬王寺と庚申塔～

ルート 大石公民館⇒②八合神社⇒⑥昌福寺⇒⑧弁財浅間塚⇒⑩薬王寺⇒⑪氷川神社
⇒⑫寶蔵寺⇒大石公民館



大石地区（旧大石村）地名の由来は、明治 22 年、江戸時代の大谷領（現在の上尾市・さいたま市の一部）の沖之上村・弁財村・中妻村・井戸木村と石戸領（現在の北本市・鴻巣市・桶川市・上尾市の一部）の藤波村・古泉村・中分村・領家村・菅原新田村・畔吉村・小敷谷村がし、それぞれの文字をとって名付けられました。

昭和 30 年に上尾町・平方町・原市町・大石村・上平村・大谷村が合併し上尾町に、昭和 33 年に上尾市になりました。 当時の人口は 27000 人、現在は 23 万人。 農業主体の町から工業都市・住宅都市と変貌を遂げてきました。